なる。標準のカメラアプリだと、起動時にmicroSDカードを自動認識して、保存先を自動的に切り替えるか、ユーザーに選ばせるようにしていることが多い（図3）。

「Android One」シリーズなど、Android 6.0以降を搭載したスマートフォンには、microSDカードを内部ストレージとして割り当てられるモデルも一部ある（図4）。写真や音楽といったデータに加え、アプリもmicroSDカードに保存可能になる。

ただし、読み書きが遅いmicroSDカードを使うと、全体的な処理速度が落ちやすくなる。microSDカードの選別には要注意だ。また、接続したmicroSDカードは、内部ストレージと同じLinuxの形式で初期化されるので、そのまま別の機器につないでも認識されない。

機種変更時も使える

NTTドコモ、au（KDDI）、ソフトバンクといった大手通信事業者のスマートフォンは、標準でバックアップ機能やアプリを搭載している（図5）。NTTドコモの「データコピー」の場合、電話帳やメール、写真、音楽などから保存対象を選びバックアップを実行すると、microSDカードに対象のデータが丸ごと保存される（図6）。復元するには、同じ要領で復元対象を選ぶだけだ（図7）。バックアップ機能は機種変更時も利用できる。バックアップデータを保存したmicroSDカードを新しい機種につなぎ、同じ機能で復元すればデータをそのまま移行できる。auやソフトバンクでも、操作のおおまかな流れは同じだ（図8）。

●microSDカードでバックアップやデータ移行

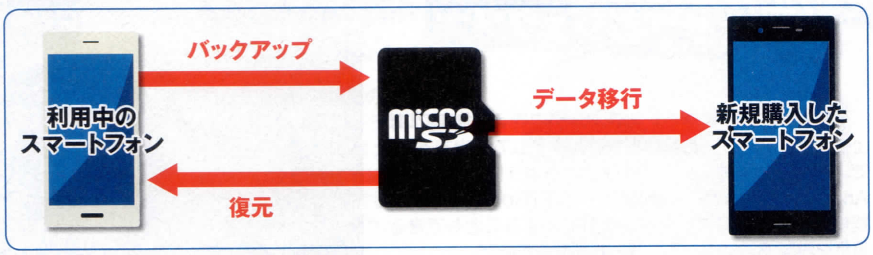

図5　Androidスマートフォンの場合、標準の機能やアプリで電話帳やメールなどのデータをmicroSDカードにバックアップできる。バックアップしたデータは、機種変更時に新しい機種で復元すれば元の環境を移行できる

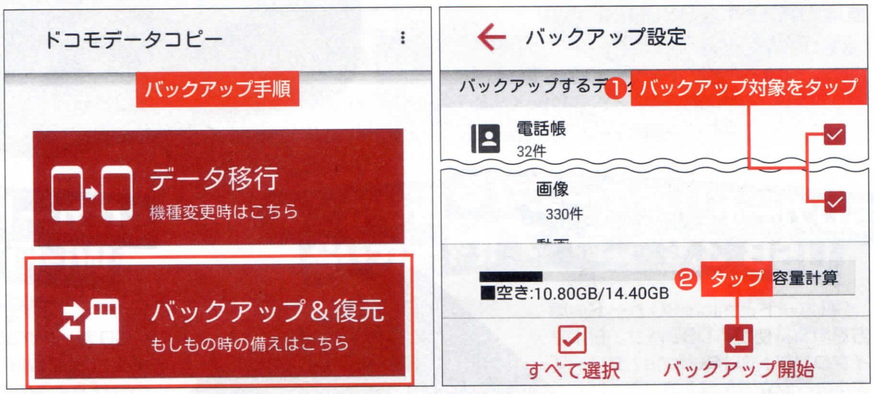

図6　NTTドコモの「データコピー」を使ったデータバックアップの手順。「バックアップ&復元」→「バックアップ」の順にタップし（左）、保存するデータを選ぶ（右）

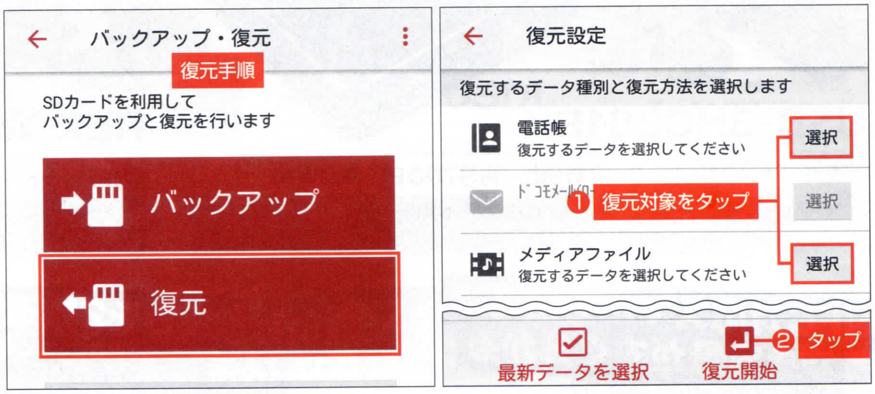

図7　図6左の画面で「バックアップ&復元」をタップし、さらに「復元」をタップする（左）。復元対象を選び「復元開始」を選ぶと処理が実行される（右）

	au（KDDI）	ソフトバンク
データのバックアップ（復元）	設定 → au設定メニュー → データを移行する → SDカードに保存する（SDカードから復元する）	あんしんバックアップ→データの保存（データの読み込み）→SDカード
機種変更時のデータ移行（復元）	設定 → au設定メニュー → データを移行する → 機種変更はこちら→データ移行を始める →データを保存する（保存済みデータを戻す）	手順はデータのバックアップと同じ
保存対象	電話帳、メール、SMS、写真、音楽、ブックマーク、カレンダーなど	電話帳、メール、写真、音楽、カレンダーなど

図8　au（KDDI）やソフトバンクのAndroidスマートフォンにも、標準でバックアップおよびデータ移行用のアプリがある。機種や搭載するOSのバージョンにより、操作方法は異なる場合がある